

新商品

短信



開所式で工場の概要を説明する飯野代表取締役＝28日午後(オンライン画面)

小山の飯野さん プロジェクト主導

南相馬にロボット工場

国内製造業の復活を目指して産業用ロボット製作を行うロボコム・アンド・エフエイコム(東京都港区)は28日、福島県南相馬市で南相馬工場の開所式を行った。東日本大震災からの復興に向けた市工業団地の立地企業第1号で、共同代表取締役は、製造業、物流などのロボットシステムを手掛ける小山市榑木のオフイスエフエイ・コム社長の飯野英城氏が務めており、プロジェクトを主導する。

同社はデジタル技術活用での革新から生産ラインの開発・実装までスマートファクトリー構築を包括的に支援するコンソーシアム「Team Cross FA(チームクロスエフエー)」の幹事企業。

南相馬工場は、最先端技術を駆使した無人化・全自動の加工ラインが24時間稼働する。中でもデジタル上で構築した仮想工場と現実の生産工場のデータをやりとりすることで、生産性を高める「デジタルファクトリー(DF)」を目指している。ロボット要素技術の部品を共通化してパッケージにするなど、一品一様ながら中小企業でも導入しやすくする低価格化を図る。

飯野代表は「DFは(生産ラインを)動かせば動かすほど、工場(の生産性な

ど)が良くなっていく」と説明した。また「南相馬工場で全国のシステムインテグレーターの後方支援を行い、技術を全てオープンにする。多くの中小企業に見ていただき、モデル工場にしていただけがあればありがたい」と述べた。

(伊藤一之)